

I have big ears.

I have small eyes.

I have a long trunk.

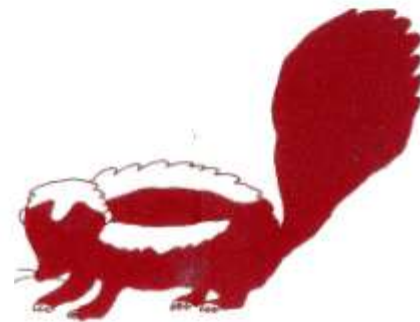
I have a short tail.

I have a small head.

I have a big tail.

I have short legs.

I have long whiskers.

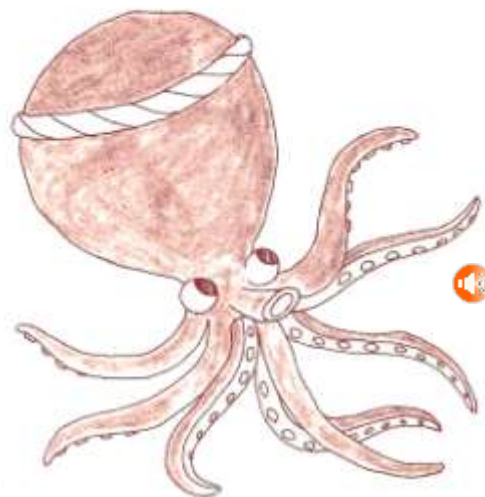


I have one head.

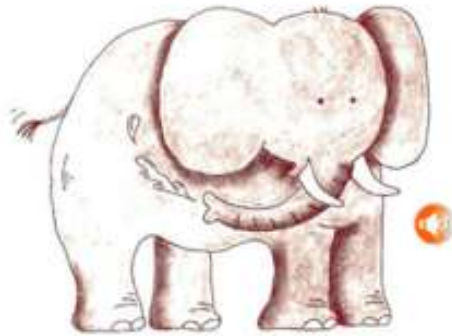
I have two eyes.

I have one mouth.

I have eight arms.



英語でやりとりをすることに慣れてきたころ、このスピーカー・マークで音声を聞けば意味はすべて理解できるようになります。その頃、「何て書いてあるかな」と誘い掛けると、4年生の終わりころか5年生くらいの子どもたちですと、英語を読めることに誇りを持つようになっていきますから、読めるところを探して、声を出し始めます。



I have big ears.

I have small eyes.

I have a long trunk.

I have a short tail.

長い・短い、大きい・小さいという英語の言い方は、実は外来語で使っていますので、子どもにとってもそれほど耳新しいことではないのです。むしろカタカナ語のような発音になるのを注意したいくらいです。「なんだ、読めるじゃん！」という自信がつけば、独りで“朗読”できるか、挑戦させてみましょう。

I have a small head.

I have one head.

I have a big tail.

I have two eyes.

I have short legs.

I have one mouth.

I have long whiskers.

I have eight arms.

ついでに、このように、動物の絵を隠して、英文だけを見せたとき、どのくらい子どもたちは食いついてくるでしょうか。1人では自信がなかったら、2人で相談してごらん、と言うと、2人でブツブツ言いながら、読んでくれると思います。そこで、スピーカー・マークをクリックしていただければ、英語らしい音で読んでいる音が聞こえてきます。子どもは英文の文字を目で追いながら、その英文を読んでいる気分になるでしょう。

そこで、「じゃあ、皆で読んでみましょう」と声を掛けると、自信を持って声を出して読み上げてくれると思います。目で文字を追いかけて、音読する力が自然に養われていきます。

※注 「スピーカー・マーク」がついているのは、デジタル版の教材です。
アナログのテキストを使用の場合は、CDを聞かせます。